令和4年度太陽の子保育園自己評価表

凡例	A:大変良い　B:良い　C:一部検討を要する　D:改善を要する

項目	内容	評価	意見改善策
保育目標について	（1）保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	A	コロナ禍という状況下でも、創業の精神である「太陽の子らしさ」を常に忘れず、目標を立てることができた。
	（2）目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	A	
	（3）目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	B	
	（4）目標は、前年度の反省を生かしているか。	A	
	（5）目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	A	
保育について	（1）指導計画、乳幼児の実態に即して作成しているか。	A	感染症対策という制約の中、子どもの育ちを意識した保育を実践することができた。
	（2）保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	A	
	（3）環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	A	
	（4）素材・用具を適切に活用しているか。	A	
	（5）評価結果をもとに、保育の改善に努めているか。	B	
日程	（1）１日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。	A	現状に合っている。
行事について	（1）行事の種類や実施回数は適切か。	B	コロナ禍という制約の中、個々の予定されていた行事を実現するにはどう工夫すればよいかを常に考えながら実施した。
	（2）行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	A	
	（3）乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	A	
	（4）計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	A	
	（5）保護者の願いや意見を取り入れているか。	B	

項目		内容	評価	意見改善策
運営・組織	分掌・体制	（1）能率的、合理的な運営組織になっているか。	A	幼児主任、乳児主任体制が定着してきた。 職員間の連携は良い。
		（2）職務内容が明確で、協力し合える体制になっているか。	A	
		（3）職員の配置は適材適所か。	A	
		（4）係や仕事の分担、割り当ては適切か。	A	
	年齢別・クラス運営	（1）各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	B	コロナ禍で乳・幼児別会議が開けなくなり若干意思疎通が図れない部分があった。
		（2）年齢別クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	A	
		（3）年齢別クラス目標に係る、短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	A	
		（4）同年齢及び異年齢間の効果的な活動の充実を図っているか。	A	
		（5）意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	B	
		（6）評価、資料（諸記録）を集積しているか。	A	
	保健・安全指導	（1）年齢別クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	A	市川市の指導助言を遵守し、職員・保護者との協同のもと対策をとることができた。
		（2）避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。	A	
		（3）健康安全な生活に必要な習慣や態度育成のため家庭への啓発を行っているか。	A	
		（4）乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	A	
研究・研修	内部研修	（1）研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	B	感染症対策により、研修の機会は減少したが、資料の配付等工夫して実施。
		（2）法人内研修、園内研修の計画・運営は適切か。	B	
		（3）研究の成果を日常に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	A	
		（4）研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	B	
	外部研修	（1）各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか。	A	感染症対策により、WEB研修への参加が増えた。
		（2）各種研究会、研修会、講習会での内容を全職員に伝えているか。	A	

項目		内容	評価	意見改善策
情報について		（1）乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	A	個人情報の扱いは、今後も適切な配慮を目指していく。
		（2）公文書収受、発送、処理を適切に行っているか。	A	
		（3）各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	A	
施設・整備		（1）施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	A	園舎が新しいため特に補修の必要性はないが、危険個所があった場合は、職員間で情報を共有化している
		（2）遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	A	
		（3）不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	B	
		（4）掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	A	
出納経理		（1）各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	A	顧問税理士のもとで適切に処理している。
開かれた保育園づくり	施設間交流・連携	（1）他施設との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。	C	コロナ感染防止のため、小学校訪問や老人施設との交流が中止となる。
		（2）他施設等の幼児・児童生徒と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごした充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	C	
		（3）指導者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	C	
		（4）参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	C	
		（5）日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	B	
	家庭・地域社会との連携	（1）参観時間を制限せず、保護者以外も参観ができるようになっているか。	C	保育参観は時間短縮と屋外保育の限定付きで実施した。 外部講師による英語に親しむダンス教室や体操教室は例年通り実施した。 高齢者サロン、近隣高齢者施設との交流は中止。
		（2）保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	B	
		（3）乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	B	
		（4）地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	C	

項目		内容	評価	意見改善策
開かれた保育園づくり	子育て支援の推進	（1）地域の子育て支援センターとして、園庭や保育室等を開放しているか。	C	感染症対策により、開放計画が進まなかったが今後はコロナ禍での地域保護者支援について考えていきたい。
		（2）地域に住む親子が一緒に遊ぶことのできるような場の設定を行っているか。	C	
		（3）「子育てについて」等、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	B	
		（4）職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	A	
		（5）千葉県・市川市等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	A	
	情報発信	（1）園だより等の配付物やホームページで施設の情報を発信しているか。	A	情報は日々各媒体を通して発信している。
		（2）行事や子育て支援事業等を地域や他施設に周知しているか。	C	
	外部評価	（1）第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	C	第三者評価は今後の検討課題である。
		（2）地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	A	